

報道関係各位

2016年10月24日

株式会社川島織物セルコン

ビニル床タイル EXA WOOD/EXA STONE に  
**NEW EXA COATING PLUS** を導入  
 防汚性UP 耐久性UP コスト削減

株式会社川島織物セルコン(本社:京都市左京区 社長:山口 進)は、ビニル床タイルの EXA WOOD/EXA STONE (エグザウッド/エグザストーン)に、性能がアップした新しいコーティング加工のオプション「NEW EXA COATING PLUS (ニューエグザコーティングプラス)」を導入します。

ビニル床タイルは、適切な方法と頻度でワックスメンテナンスを行えば、長く美しく使える床材ですが、ワックスメンテナンスが適切でなければ、汚れが目立つなど美観を損ねてしまったり、耐用年数が短くなってしまったりします。また、ワックスメンテナンスは、1カ月～数カ月に1度行う必要があり、ワックスの塗布や乾燥中は該当箇所が使えないなど、費用に加え時間的なロスも発生します。

この「NEW EXA COATING PLUS」は、ビニル床タイルの製造ラインで特殊樹脂をコーティングし、防汚性、耐久性を高める加工です。ワックス塗布品と比べ、約30倍の耐久性<sup>(※1)</sup>を発揮するため、メンテナンスコストを大幅に軽減<sup>(※2)</sup>することが可能です。

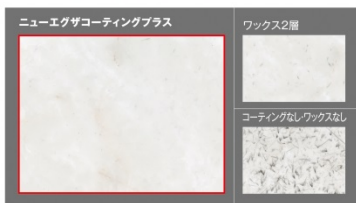
川島織物セルコンは、商品性能に加え、メンテナンス性も考慮した商品の開発を進めていきます。

※1 当社比      ※2 社内試験による (参照:次ページ参考資料)

## ■ NEW EXA COATING PLUS の優れた防汚性

### 1 ヒールマークが付きにくい

●特殊樹脂コーティング層が汚れを付きにくくします。



※試験機: フラットエンボス機、※ワックス: 当社指定ワックス (エンボスワックスの種類により、汚れは異なります。)

なぜ汚れが付きにくく、取れやすいのか?

#### 製造ラインでコーティング

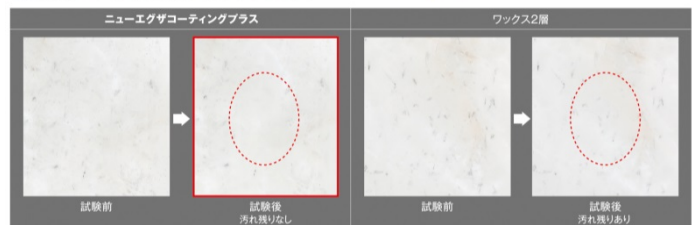
ニューエグザコーティングプラスは、ワックスメンテナンスのように現場で行うのではなく、製造ラインでコーティングを行います。均一かつ安定した強固なコーティング層が、汚れを付きにくく、また取れやすくしています。

【耐ヒールマーク性試験】  
 試験方法: JIS K 3920  
 耐ヒールマーク性試験専用  
 試験体をヒールマーク試験機にセットし、1000回転させた後の表面状態を目視で評価する。

### 2 ヒールマークが取れやすい

●特殊樹脂コーティング層が汚れを取れやすくします。

【汚れ拭き取り試験】  
 試験体の表面に付着したヒールマークを、マイクロファイバークロスを用いて5往復拭き取った(荷重4.5~5kg)後、外観を目視で評価する。



※試験機: フラットエンボス機、※ワックス: 当社指定ワックス (エンボスワックスの種類により、汚れは異なります。)

このリリースに関するお問い合わせ

株式会社川島織物セルコン 経営戦略部 経営戦略・広報グループ 有賀

TEL:075-741-4316 FAX:075-741-4308

※当リリースは、京都経済記者クラブにお届けし、川島織物セルコンホームページ(URL: <http://www.kawashimaselkon.co.jp/>)でも発表しています。

## <参考資料>

### NEW EXA COATING PLUS (ニュー エグザ コーティング プラス)

発売日：10月24日

対応品：ビニル床タイル EXA WOOD/EXA STONE 全品  
(鏡面エンボス品、籐エンボス品 除く)




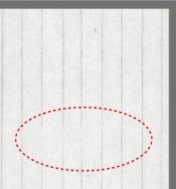
価格：製品価格 + 600円/㎡

その他：受注生産品

## 耐久性

### ワックス塗布品と比べて、約30倍の耐久性<sup>(当社比)</sup>

- 目安として、1~2ヶ月に1回ワックス2層塗布のワックスメンテナンスを行う店舗の場合、2.5~5年程度はワックスメンテナンスの必要性がない計算になります。

	ニューエグザコーティングプラス	ワックス2層
試験 A		
試験 B		

※試験体: フラットエンボス品 ※ワックス: 当社指定ワックス (エンボスやワックスの種類により、性能は異なります。)

なぜ耐久性があるのか？  
**強固な特殊樹脂コーティング層**  
ニューエグザコーティングプラスは、特殊樹脂コーティング層がワックスの膜に比べて硬いため、傷が付きにくく優れた耐久性を発揮します。

試験 A  
試験方法: JIS A 1453 建築材料及び建築構成部分の摩耗試験方法(研摩紙法)準拠  
試験体に線を引き、一方はUVコーティング、他方はワックスを2層塗布する。テーパー摩耗試験にて、それぞれコーティング前、ワックス塗布前に描いた線が消えた時の回転数で評価する。

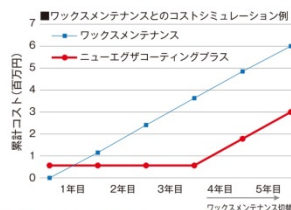
試験 B  
JIS L 1021-11 繊維製床敷物試験方法 第11部: 摩耗強さ試験方法準拠  
試験体に線を引き、一方はUVコーティング、他方はワックスを2層塗布する。リッソソ形摩耗試験機を用いて、それぞれUV樹脂コーティング前、ワックス塗布前に描いた線が消え始める往復回数で評価する。

## 時間・コスト削減/メンテナンス

### ワックスメンテナンスに要する時間やコストを削減

- ワックス塗布+養生時間=0時間。通行止めや立ち入り禁止なども発生しません。  
●1000㎡の現場にてワックスを2回塗布する場合、除塵や洗浄からワックス塗布までおよそ8時間の作業時間が発生します。\*
- 従来のワックスメンテナンスコストを、3年間で**約80%削減**します。  
●1000㎡の現場で1ヶ月に1回ワックスを塗布した場合を想定し、㎡あたりの表面洗浄価格を基に算出しています。\*

\*参考文献: 平成26年度版ビルメンテナンスの積算&見積  
ワックス2回塗布の作業料金: 100円/㎡  
ワックスメンテナンスの実施条件: 1ヶ月に1回  
ニューエグザコーティングプラスの価格: 600円/㎡  
ワックスの種類やメンテナンス方法、現場の状況などにより異なります。



### ワックスメンテナンスへの切り替えも可能

- 性能を長持ちさせるため、ニューエグザコーティングプラス指定の樹脂ワックスを使用することで、従来は難しかったワックスメンテナンスとの併用ができることから、切り替えも可能となっています。
- 表面に傷が入り込んだ場合、樹脂ワックスを3~4回塗り重ねることで傷は目立ちにくくなります。
- 施工後4年目よりワックスメンテナンスに切り替えた場合、累計コストは5年間でも従来のワックスメンテナンスに比べて**約半分**となります。\*

当社指定ワックス	下地用 P-711	(株)リソレイ
	仕上用 ノンヒールネオ速乾	

\*各種試験データは全て社内試験による測定値であり、保証値ではありません。現場状況やメンテナンス方法等により異なりますことをご了承ください。